

学校教育目標 「つよいきずなで よさをのぼそう」
重点目標 「すすんで やる子」



豊かな学びに向けて

校長 望月 秀一

2週に渡り、台風の猛威に自然の恐ろしさを感じましたが、子どもたちは元気に学校生活を送ることができています。保護者の皆様には、23日(月)の登校や給食対応にご理解とご協力をいただきまして感謝いたします。

後期がスタートして、3週間余りが経ちました。後期の始業式では、重点目標にある「すすんでやる子」について話をしました。

「すすんでやる」というのは、自分からやっていくこと。いろいろなことに挑戦(チャレンジ)してほしいと伝えました。そのためには、自分のめあて、目標を持つことで頑張ろうという気持ちが湧き、やり遂げた達成感や感動も得られると……。たとえ、苦手なことでも、こつこつ毎日頑張ることで、少しずつできるようになり記録も伸びていくので、あきらめずに頑張っていこう。こんな話をしました。

子どもたちには、嫌なことから逃げてしまうのではなく、自分らしく立ち向かっていける強い心を持ってほしいと願っています。どんな事にも前向きに捉えられる子を育てていきたいと思えます。11月29日には「持久走大会」があります。自分の記録を伸ばせるよう、ご家庭でも励まし声掛けをお願いします。また、12月9日には「ふれあい祭り」があります。学級でのきずなを強くしていくために、仲間と知恵を出し合い、力を合わせて、楽しいお店を作れるよう支援していきたいと思えます。

先月、早稲田大学教授の藤井千春先生を招聘して、子ども主体の授業の実現に向けてご指導をいただきました。1年生の国語の授業を見ていただき、まっぼっくりを手にしながら友達と楽しそうに授業に取り組む姿が見られました。先生からは、子どもたちが学ぶ意欲が溢れてよく育っていることや、国語を文章だけの世界に終わらすことなく、本校の良さである自然とふれあう生活経験を生かした授業ができていると評価していただきました。今後も、学校での学びを、どう生活に結びつけていくかを考えながら授業に取り組んでいきたいと思えます。



今月は、富士・富士宮地区の教員が集い、6年生の理科の研究授業を行いました。「大地のつくりと変化」の学習でしたが、5年生で学んだことを生かした意見が出されたり、大涌谷や箱根ジオミュージアムで見学したことを基に、話し合いが活発に行われたりするなど授業が深まりました。参観した教員からは、ノートが上手にまとまっていて学習の足跡が分かることや、グループ学習の場面で課題を意識しながら積極的に対話をするなど、子どもたちの頑張りを評価していただきました。この学びをさらに充実していけるよう、研修を積んでいきたいと考えています。



報告が遅くなりましたが、図書館司書の加奥裕美先生ですが、出産のため10月6日をもって退職しました。10月10日より白髭通子先生が赴任しました。よろしくお願いいたします。